

農業経営改善計画認定申請書

記入例(稲作+露地野菜)

令和 7年 月 日

○ 魚沼市長 殿	住所	魚沼市小出島 9 1 0 番地	連絡先	793-7647 090-●●●●-△△△△
新潟県知事 殿	フリガナ	ウオヌマ タロウ	フリガナ	
北陸農政局長 殿	個人・法人名	魚沼 太郎	代表者氏名 (法人のみ)	
農林水産大臣 殿	生年月日・ 法人設立年月日	昭和 3 5 年 1 0 月 7 日	法人番号	

この計画の②(3)アの農用地とイの農業生産施設について、魚沼市以外の市町村も所在地として記載した場合は、申請先が県または国になります。該当する場合は市にお知らせください。

押印は不要です

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画																			
① 農業経営体の営農活動の現状及び目標																			
(1) 営農類型																			
現 状						目標 (R12年)													
☒ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☒ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()						☒ 複合経営 ☒ 稲作 ☐ 麦類作 ☐ 雑穀・いも類・豆類 ☐ 工芸農作物 ☒ 露地野菜 ☐ 施設野菜 ☐ 果樹類 ☐ 花き・花木 ☐ その他の作物 () ☐ 酪 農 ☐ 肉用牛 ☐ 養 豚 ☐ 養 鶏 ☐ 養 蚕 ☐ その他の畜産 ()													
(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標																			
※ 所得=収入(売上)－経費				現 状		目標 (R12年)		現 状		目標 (R12年)		主たる従事者の人数 1 人							
年間所得		1 5 0 万円		2 0 0 万円		年間労働時間		1, 9 0 0 時間		2, 2 0 0 時間									
主たる従事者 1 人 当たりの年間所得		1 5 0 万円		2 0 0 万円		主たる従事者 1 人 当たりの年間労働時間		1, 4 0 0 時間		1, 8 0 0 時間									
② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標																			
(1) 生産																			
作業受託面積は含めない。																			
市の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」では、年間農業所得の目標水準を400万円程度と掲げていますが、市の認定の判断基準として、その半分の200万円以上を目標としていただくこととしています。																			
(2) 農畜産物の加工・販売その他の 関連・附帯事業 (売上げ)																			
作目・部門名 (耕 種)		現 状		目標 (R12年)		作目・部門名 (畜 産)		現 状		目標 (年)		事 業 内 容		現 状		目 標 (R12年)			
		作付面積 (a)		生産量		作付面積 (a)		生産量		飼養頭数 (頭、羽)		生産量		飼養頭数 (頭、羽)		生産量			
稲作		250		12, 000kg		300		14, 400kg											
露地野菜		30				50													
												作業受託 (耕起・代かき)		5万円		10万円			
												作業受託 (田植)		5万円		10万円			
												作業受託 (収穫)		5万円		10万円			

裏面へ続く

円

(3) 農用地及び農業生産施設

ア 農用地						イ 農業生産施設							
区 分	所在地		地 目	現 状 (a)	目 標 (R12年) (a)	種 別	所在地		規 模				
	都道府県名	市町村名					都道府県名	市町村名	現 状		目 標 (R12年)		
									棟	m ²	棟	m ²	
所有地	新潟県	魚沼市	田	70	70	作業所	新潟県	魚沼市	1	50	1	50	
	新潟県	魚沼市	畑	30	40								
借入地	新潟県	魚沼市	田	170	250								
	新潟県	魚沼市	畑		10								
その他				農用地の利用条件の改善、品種構成、作付体制、飼養管理の方法等、生産方式の合理化について記載					簿記記帳、経営形態の近代化等について記載				
経 営 面 積 合 計				270	370	経 営 面 積 合 計				1	50	1	50

③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置	④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置
<稲作> ・ほ場が分散しているため、農地の集積及び集約化を図る ・一発肥料を活用し、施肥作業を省力化する ・減農薬・減化学肥料栽培に取り組む ・有機栽培に取り組む ・機械の導入により、稼働効率の向上を図る <野菜> ・堆肥の施用により土質を改善し、減肥料を図る	・経営の状況を把握するため、農業経営管理システムを導入する ・対外的信用力向上のため、法人化を目指す ・ネット通販など、新たな販路拡大に取り組む ・農業生産工程管理（GAP）の認証を取得する ・現状は単式簿記のため、会計ソフトを導入し、複式簿記にする ・複式簿記とともに青色申告に取り組む
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置	⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置
・農繁期にも休めるよう、臨時雇用を増やす ・人材確保に向け、就業規則等を整備する ・休みが決まっていないので、休日制を導入する ・家族間の役割分担を明確化する ・〇〇への経営移譲に向け、担当業務の見直しを行う	・農地中間管理機構を活用し、農地を借り受け、規模拡大を図る ・機械や施設の導入時には補助事業や制度資金等を活用する ・アグリノートなどのツールを活用し、ほ場毎の作業記録を適切に管理する ・販売は米業者の割合を高め、売上及び所得率の向上を図る ・近隣の大区画のほ場の確保を考慮し、地権者との良好な関係づくりに努める

休日制の導入、雇用の活用による労働負担の軽減、経営内役割分担等について記載

(参考) 経営の構成

(1) 構成員・役員									(2) 雇 用 者						
氏 名 (法人経営にあっては役員 の氏名)	年 齢	性 別	代表者との 続柄(法人経 営にあって は役職)	現 状			見通し (R12年)			常時雇 (年間)	実 人 数	現 状	人	見通し	人
				担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	担当業務	主たる 従事者	年間農業 従事時間	臨時雇 (年間)	実 人 数	現 状	1 人	見通し	1 人
											延べ人数	現 状	20 人	見通し	40 人
魚沼 太郎	60	男	(代表者)	作業全般	○	1,400	作業全般	○	1,800	現在は農業経営に携わっているが、5年以内に離農する見込みの者、 現在は就農していないが5年以内に経営に参画する見込みの者についても記載					
魚沼 花子	57	女	妻	基幹作業		300	基幹作業		400						
魚沼 一郎	81	男	父	基幹作業		200									

現在は農業経営に携わっているが、5年以内に離農する見込みの者、現在は就農していないが5年以内に経営に参画する見込みの者についても記載

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

[illegible]

5年間で取得(更新含む)予定の機械等
のみ記載してください。

取得の予定がない場合は「取得予定なし」などと記載して提出ください。

機械の共同利用組織に参画していて、その組織で取得するなどの場合はその旨も記載してください。

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3)農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)